アドブルー

整理番号 P030440J　改訂日 2013/06/11　発行日 2013/06/11
版番号 1.0

1．化学品及び会社情報

製品情報

製品名　：アドブルー

会社情報

会社名　：三井化学株式会社
住所　：東京都港区東新橋一丁目５番２号
担当部門　：工業薬品事業部
電話　：03-6253-3290
ＦＡＸ番号　：03-6253-4215

整理番号　：P030440J

2．危険有害性の要約

GHS分類

分類基準に該当しない

GHS分類区分は付与されないが取り扱い時には以下の点に注意する。

注意書き　：**予防策:**
使用前に取扱説明書を入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
取扱い後は手および顔をよく洗うこと。
環境への放出を避けること。
応急措置:
飲み込んだり、吸入又は接触したか、又はばく露の懸念がある場合、気分が悪いときは医師の手当を受けること。
廃棄:
内容物及び容器を廃棄する場合は、該当法規に従い、都道府県知事に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること。
使用済みの容器は、他の用途に使用しないで適正に廃棄すること。

3．組成及び成分情報

化学物質•混合物の区別　：混合物

化学名 (別名)	化学特性(示性式、構造式等)	CAS番号	濃度又は濃度範囲	官報公示整理番号
尿素	C-H4-N2-O	57-13-6	32.5 - 33.0%	化審法:2-1732
水	H2-O	7732-18-5	<=67.5%	化審法：対象外

4．応急措置

吸入した場合　：異常を感じたり、気分が悪くなった場合には、直ちに空気の新

鮮な場所に移動する。
症状変化が現れた場合には、直ちに医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぐ。
付着した製品を拭い取り、水又は微温湯で洗い流しながら石鹸を使って良く洗い落とす。
外観に変化が見られたり痛みがある場合は、速やかに医師の手当てを受ける。

眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で数分間洗浄する。
洗眼の際、まぶたを指で良く開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行きわたるように洗浄する。
コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。
異物感が目に残るようであれば、速やかに眼科医の手当てを受ける。

飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないこと。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
口を水ですすぐ。
保温して速やかに医師の手当てを受ける。

応急措置をする者の保護 : 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、保護長靴などの適切な保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じた治療を行う。

5．火災時の措置

消火剤 : 棒状水，霧状水，泡消火剤，粉末消火剤，二酸化炭素（CO2），乾燥砂

使ってはならない消火剤 : なし

特有の危険有害性 : 当該製品は分子中にNを含有しているため、火災時に刺激性もしくは有毒なガスを放出する。

消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、状況に応じた保護具（自給式呼吸器、防火服、防災面など）を必ず着用する。

詳細情報 : この製品自体は不燃性であるが、周辺火災の場合以下の措置を行う。
付近の発火源となるものを速やかに取り除く。
火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。
移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
消火活動は、可能な限り風上から行う。
容器、周囲の設備などに散水して冷却する。

6．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、保護長靴などの適切な保護具を着用する。 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。 風上から作業し、風下の人を避難させる。 作業の際には保護具を着用し、飛沫などが皮膚に付着したり、蒸気やミストを吸入しないようにする。 漏れた場所の周辺から人を退避させる。
環境に対する注意事項	: 漏出物を直接、河川や排水施設に流してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: 少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸収して密閉できる空容器に回収する。 大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。 危険なくできるときは、漏出源を遮断し、漏れを止める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	: 8章の「設備対策」を参照する。 吸入、皮膚への接触を防ぎ、又、目に入らないように適切な保護具を着用する。 取扱い場所の近くには、手洗い、洗眼などの設備を設け、取扱い後に、手、顔などをよく洗う。 取扱い場所は換気を良くし、その周辺での火気、スパーク、高温物の使用は禁止する。 換気の良い場所で取り扱う。
安全取扱注意事項	: 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 漏れ、あふれ、飛散を防ぎ、みだりに蒸気を発散させない。 容器は転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の取扱いをしてはならない。 接触、吸入、あるいは飲込まない。 屋外、又は換気のよい区域でのみ使用する。
接触回避	: 乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、容器の栓をしっかり閉めて保管する。 法令等により規定された基準に従って保管する。
衛生対策	: 取扱い後は手をよく洗うこと。 この製品の使用中は飲食や喫煙をしないこと。

保管

安全な保管条件	: 容器を密閉して、直射日光を避け、換気の良い20-30℃の暗所に保管する。 保管場所の床は、床面に水が浸入／浸透しない構造とする。 保管場所には、必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。 混触禁止物質：強酸化剤

安全な容器包装材料　：貯蔵タンクの材質はステンレス鋼が最適

8．ばく露防止及び保護措置

管理濃度

作業環境評価基準
未設定

許容濃度

日本産業衛生学会．許容濃度等の勧告
未設定

ACGIH
未設定

設備対策　：取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
必要に応じて、局所排気装置や全体換気装置などを設置した場所で取り扱う。

保護具

呼吸用保護具　：必要に応じて、防塵マスク、防毒マスク等を使用する。

手の保護具　：保護手袋

眼の保護具　：安全ゴーグル，保護眼鏡，保護面

皮膚及び身体の保護具　：保護服，安全帽，保護長靴，保護前掛け

9．物理的及び化学的性質

外観

物理的状態　：液体
形状　：水溶液
色　：無色透明
臭い　：情報なし

安全性データ

pH　：7-8（10%水溶液 ）
融点・凝固点　：-11.5 ℃
沸点，初留点及び沸騰範囲　：データなし
引火点　：データなし
自然発火温度　：データなし
爆発範囲の下限　：データなし
爆発範囲の上限　：データなし
蒸気圧　：データなし
密度　：1.090 g/cm3

比重	: 1.09
水への溶解性	: データなし
n-オクタノール／水分配係数	: データなし
分解温度	: データなし

10．安定性及び反応性

化学的安定性	: 通常の状態では安定。
避けるべき条件	: 高温，日光
混触危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 窒素酸化物，アンモニア

11．有害性情報

製品:

急性経口毒性	: 区分外
急性経皮毒性	: 区分外
急性吸入毒性	: 分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 区分外
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 区分外
感作性	: 呼吸器感作性: 分類できない 皮膚感作性: 区分外
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 分類できない
吸引性呼吸器有害性	: 区分外

成分:

尿素 :

急性経口毒性	: LD50 ラット: 14,300 mg/kg

急性経皮毒性　：LD50 ラット： 8,200 mg/kg

12．環境影響情報

生態毒性

製品:

急性毒性

水生環境有害性（急性有害性）　：区分外

長期間毒性

水生環境有害性（長期間有害性）　：区分外

生体蓄積性

製品:

n-オクタノール／水分配係数　：データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性　：分類できない

13．廃棄上の注意

残余廃棄物　：関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
認可された廃棄物処理施設で廃棄物を処理する。
廃棄処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

汚染容器及び包装　：容器はきれいにしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去すること。

14．輸送上の注意

国際規制

IATA
非危険物

IMDG
非危険物

国内規制

陸上輸送　規制なし
海上輸送　規制なし
航空輸送　規制なし

輸送の特定の安全対策及び条件	：輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。 転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。 移送時にイエローカードを保持する。

15．適用法令

国内適用法令

水質汚濁防止法	：生活環境汚染項目（法第2条，施行令第3条，排水基準を定める省令第1条別表第2）［窒素含有量］

16．その他の情報

参考文献等	：自社データ 日本工業規格(JIS) Z7252:2009 日本工業規格(JIS) Z7253:2012 その他文献調査等により得られた情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を、安全に行っていただくために作成されたものです。 記載されている情報はいかなる保証もするものではありませんし、品質を特定するものでもありません。また、この MSDS のﾃﾞｰﾀはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせ使用に関しては有効ではありません。